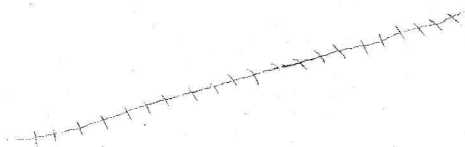


宿合春研郷

—長篠・鳳来寺・方面—



—名大郷研春合宿 実行委員会篇—

至三河田口

〇貝化石

中馬街道の宿場町

〇海老

〇柳山宮原

〇乳山石



湯谷

〇馬の背岩

〇鳳来寺跡

〇久保山宮跡

〇赤野の霊通跡

〇阿寺の古瓦

本長篠

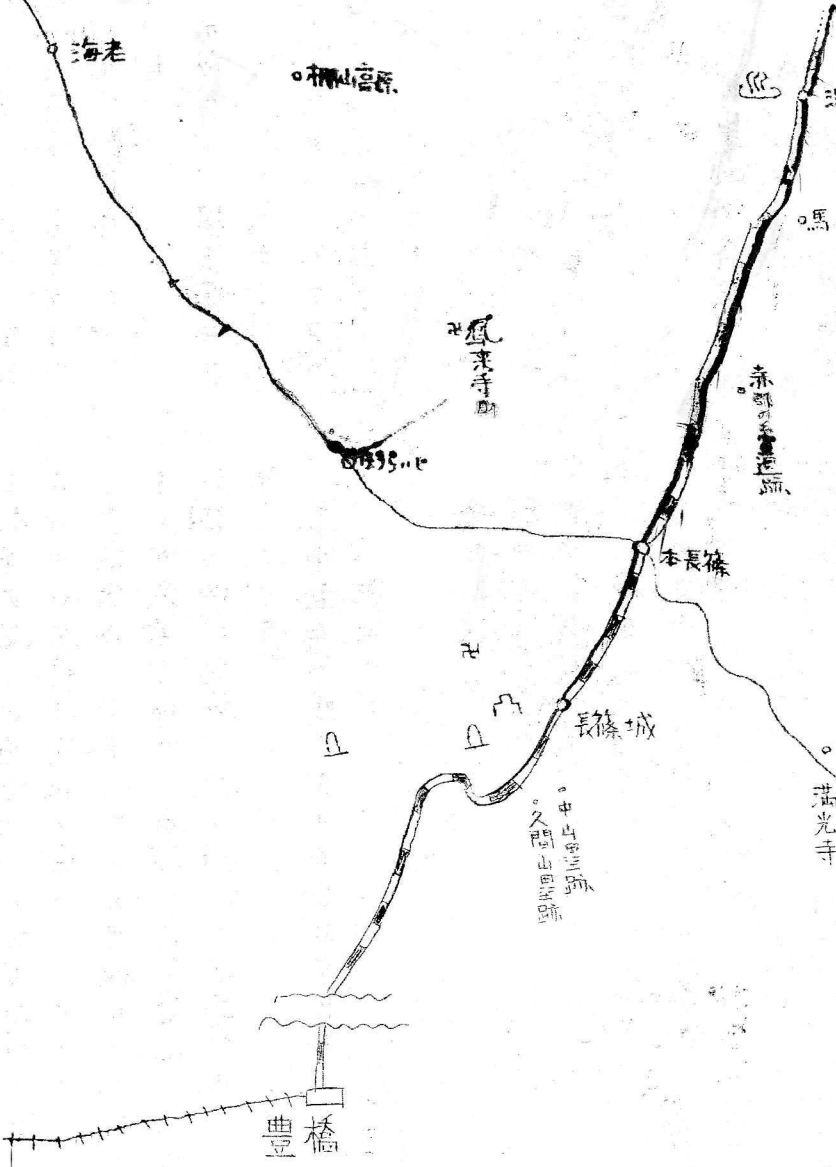
長篠城

〇中山宮跡
〇久保山宮跡

〇満光寺

至浜松

豊橋



。鳳来寺山―名勝天然記念物―

海拔六八四米の鳳来寺山は、二千万年前

に、激しい火山活動によりふき出し、流紋

岩、松脂岩、凝灰岩、石英安山岩等からな

り、その後長い間の風化浸蝕作用によつて

今の様な山の形になつた。

全山暖地系の植物が成育し、鳳来寺ユリ

やホソバシヤクナゲが美しく、鳳来寺杉が

有名である。又五月八日にはコノハズクが

渡来する(声の仏法僧、愛知県民の鳥)

水辺の木上で卵を産むモリアオイガエルも

よく知られてゐる。

鳳来寺は真言宗

五智教団の本山

で、大宝二年

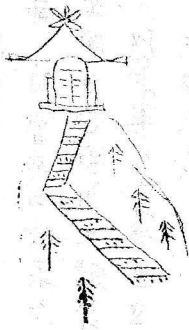
(七〇三)文武天皇

の勅命により、利修仙人が建立と言われ、

一四二五の石段を上つた所にある。

本尊は峰薬師如来がまつられ、寺の修験者

は茅瑠璃十二段草子を語りながら全山を布



教して歩いたので薬師信仰の霊山として知

られる様になつた。子室に恵まれ方か？

た松平広忠と伝通院於大之方が祈願して生

まれたのが徳川家康と伝えられてゐる。

東照宮は、家康の生れた因縁により三代

家光が造営を命じ、慶安四年(一六五二)四代

家綱の時に完成、江戸初期の建築様式を、

整えてゐる。

登山口には鳳来寺山自然科学博物館があ

る。入館料五十四

。湯谷温泉

鳳来寺の裏参道を下つて徒歩一時間、

泉質は含塩化土類食塩泉でリウマチ、神経

痛、皮膚病に効果があるという。

湯谷を中心とする串連川の溪谷は鳳来峡

と呼ばれ、上流は流紋岩類、下流は真岩が

川底に板を敷き重ねた様になつてゐるの

で、板敷川の名があり、溪流はところどころに

落差があつて滝となり、淵となり弘法大師

の伝説をもつ名号地、琵琶湖や天然記念物の馬の背岩と呼ぶ珍らしい形の岩がある。この馬の背岩は、浮石橋下流の川床の凝灰角礫岩の中へ安山岩が入り、て出来た岩脈で馬の背の様にちまつてゐる。又下流には弘法大師が発見したと伝えられ、水でいる赤引温泉があり、三月二十一日に甘茶供養が催されてゐる。

・乳岩峡―名勝・天然記念物―

飯田線三河川口駅下車二株

鳳来湖と山一ツへたてた乳岩川の上流にあり、流紋岩質凝灰岩などで出来てゐる鐘乳洞(乳岩目薬岩)、天然の大石門(極楽門)、堅穴に似た通天洞(地獄洞)などがある。

乳岩には、鐘乳石がみられるが、石灰岩以外の岩石に生じた事が大へん珍らしい。

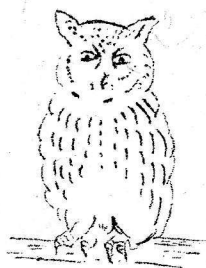
乳岩山の下を流れる溪流、峡谷は、

乳岩峡と呼ばれ、川床や兩岸の景色が幽雅で春のしよくちが、秋の紅葉が美しい。

阿寺の七竜―名勝天然記念物―
阿寺川の溪流が礫岩にかけり、全長六四米に、階段の形に連続して大小七つの竜からなる、礫岩(設楽第三系の一番下の礫岩)にかかつてゐる事、竜つぼが大きな政穴を作つてゐる事珍らしい。又この礫岩は子抱石と言ひ、ミルを祀ると子供が授かると言う伝説がある。

・棚山高原

棚山は、鳳来寺山の尾根つゞきで、旧火山群の一ツであり、玉隴、蛋白石などがみられ、植物では、ツガ、カワモツク、シラサギソウなどあり、鳥類、昆虫類、モリアオ蛭も多く、自然観察の適地である。



71

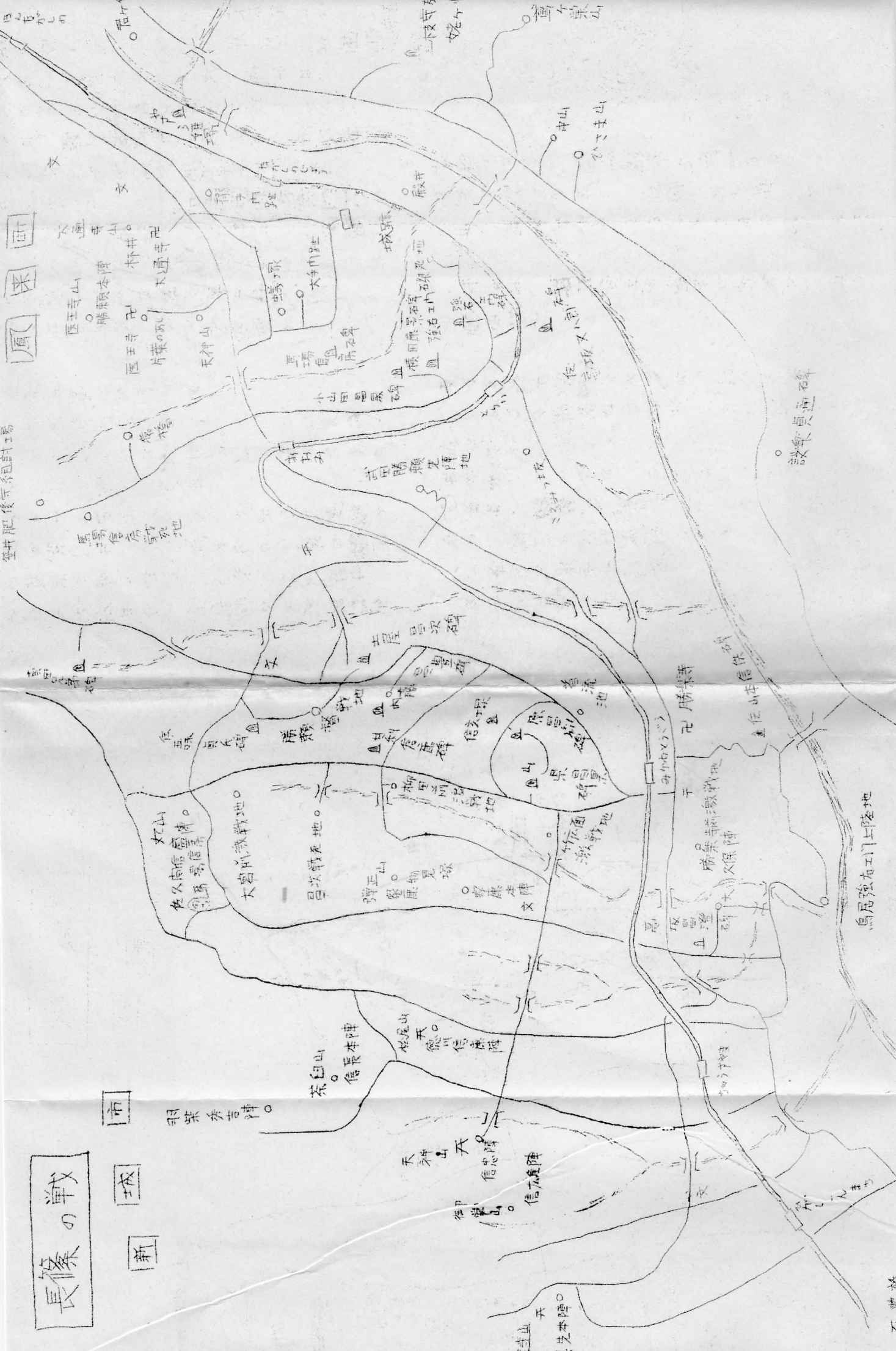
(弘法僧のつもり)

海
5
海
海



卷五

所



東軍が第略に乗。て設楽原に追撃するのを
見。て松原寺山で軍議を南。りた。
。二。一。日。未。明。酒。井。忠。次。の。登。ヶ。原。山。奇。襲。に
。より。戦。の。幕。は。切。つ。て。落。と。さ。れ。た。設。楽。原。の
。戦。は。前。半。は。東。軍。が。優。勢。で。あ。つ。た。が。三。千。挺
。の。鉄。砲。の。威。力。の。前。に。も。ろ。く。も。潰。え。勝。頼。は。敗
。走。し。た。信。長。は。深。追。い。する。の。を。戒。め。午。後
。三。時。戦。闘。は。終。つ。た。
。この。戦。で。東。軍。は。死。傷。一。万。余。人。西。軍。の。死
。傷。も。又。六。十。人。を。下。し。た。か。つ。た。

勝頼の退却

午後にも。て。東。軍。の。陣。営。は。動。揺。し。は。じ
。め。た。だ。勝。頼。は。容。易。に。退。か。な。り。馬。場。信。房



殿。戦。を。引。き。
。力。を。尽。し。
。受。け。而。軍。の
。追。撃。を。支。え。勝。頼
。の。法。が。盡。く。見。え。も
。く。な。つ。て。か。し。引。き。返。し。て。奮。戦。し。て。出。天。の
。丘。で。敵。に。首。級。を。与。へ。た。
。甲。州。下。落。せ。し。め。く。勝。頼。に。従。う。者。は。僅。か。に。四
。人。で。あ。つ。た。信。濃。路。に。は。り。つ。た。所。へ。
。長。篠。城。出。兵。を。諫。め。て。勝。頼。の。怒。り。に。ふ。れ。た
。老。將。高。坂。正。宣。が。三。百。騎。を。引。き。つ。し。て。出。迎
。え。た。の。で。無。事。甲。州。に。入。る。こ。と。が。出。来。た。

戦後

。信。長。は。近。畿。の。攻。略。に。忙。し。く。家。康。は。三。河。で
。足。助。作。平。田。峯。武。節。の。諸。城。を。遠。江。で。は
。二。侯。諏。訪。原。光。明。山。の。諸。城。を。陥。れ。た。が。
。高。天。神。城。は。容。易。に。拔。り。ず。駿。河。の。攻。略。も。容。易
。に。進。ま。百。か。つ。た。

。勝。頼。の。勢。力。は。次第。に。衰。え。天。正。十。年。三。月。
。その。子。信。勝。と。共。に。天。目。山。麓。で。徳。田。勢。に。追。り
。つ。め。ら。れ。て。滅。び。た。

信。長。も。又。その。年。の。六。月。本。能。寺。の。変。に。斃。れ。た。

日。程。一。三。月。二。十。日。と。二。四。日

合。宿。所。一。愛。知。県。海。老。町

寺

Tel

